

2015年10月重点目標 タイツウ運輸

「重大事故」が多発する、「薄暮れ時」に要注意

急激な「明るさの低下」

- 日没から「完全に暗くなるまで」の時間が、「急激に短くなる」
- 16時～18時の事故発生は、前時間帯で最多
- ドライバー・歩行者ともに、「視界が悪く」なりがちで、最も「危険な時間帯」
- ドライバーは、歩行者などに、「気付きづらく」なってしまいます
- 早目のライト点灯(デイ・ライト)で、ドライバー自身の「視界も良くなる」
- 早目のライト点灯(デイ・ライト)で、歩行者に「車の存在を知らせる」こともできる
- 歩行者が多い場所(大型スーパーなど)や、「飛び出し」が予想される「住宅街」などは、「スピードダウン」

歩行者事故に要注意

- 人身事故の内 60%が夜間に発生
- ドライバーは、ライトをこまめにハイビームに切り替え
- 歩行者は、夜光反射材の着用
- 高齢歩行者の 40%に信号無視などの違反
ドライバーは、自分が青信号でも油断せず、横断歩行者に注意
- 歩行者は、必ず横断歩道を渡り、信号のある場所では、青信号で渡る

◆ドライバーは、「こまめに休憩！」◆

重大事故が発生してからでは、遅い

「2時間ごとに、15分休憩」しよう！

●**労災事故の防止：荷台・ハシゴ・ハウスからの転落、ユニック作業事故、鋼材にはさまれ**

「起こすまい 転落・墜落・巻き込まれ、心のベルトも引きしめて」

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”注意

●**停車車両の陰から・・・ 「渡って来るかもしれない」「飛び出して来るかもしれない」**